

会長就任 にあたり



社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
あ べ か ず ひ こ
会長 阿部 一彦

この度の熊本地震により尊い命がうばわれたことに深い哀悼の意を表するとともに、甚大な被害にみまわれた被災地の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。一日も早い復興と被災者支援が講じられるよう、日身連としても努めてまいります。

急逝されました故松井逸朗会長のあとを受け、このたび会長に選任された阿部です。故松井会長は「日身連の加盟団体でよかった、日身連の仲間よかった」と実感できる日身連の組織強化に取り組んでいる中、他界されました。

私は、故松井会長の御遺志を継ぎ、日身連と各加盟団体そして各加盟団体を構成する各市町村身障協会で形成するネットワークの輪をさらに強固にし、地方分権のなか、障害があっても安全に安心して暮らせる地域づくりをめざし取り組んでまいり所存です。

現在、日身連は、国の主要な委員会や部会等に構成メンバーとして参加しております。また、国や政党、民間事業者等との意見交換等の機会も多い立場にあり、常日頃から日身連に対する期待と役割の大きさを感じております。そして、何よりも日身連がさらなる発展をするためには、各府省庁とさらに関係・調整する機能を高め、ネットワークを構成する加盟団体間で情報を共有し、各地域で発信する力を向上させる必要があります。そのときの強力なツールとしてあるのが、本年4月に施行した障害者差別解消法であると考えます。私たちの手で、解消法が大きく育つよう、綿密な連携の下、一丸となって取り組んでまいりましょう。

さて、現在、日身連の最重要課題は、日身連の法人としての基盤強化です。これまでの経緯を踏まえつつ、関係方面の力を集結し、課題解消に向けて鋭意努力してまいり所存です。さらに、緊急課題である熊本地震への支援については、東日本大震災からの経験と教訓をいかし、甚大な被害を受けた皆さまへの早急な支援と生活再建が図られるよう、加盟団体や他の障害関係団体等と連携し働きかけてまいりたく存じます。

平時の暮らしやすい地域づくりとともに、緊急時には柔軟に、かつ相互に支援し合うことが日身連ネットワークの役割です。これらは加盟団体の皆さまとともに取り組むことによってこそ実現できることです。日身連会長としての責務が果たせるよう努めてまいりますので、どうかご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

4月26日、参議院議員会館(東京都千代田区)において、平成28年度第1回正副会長会ならびに第1回定例理事会が開催され、日身連会長の互選、27年度事業報告案、決算などに関する議題が検討されました。

新会長決まる 第1回定例理事会開催

まず、議案1日身連会長の互選について、故松井逸朗会長のご逝去にともなう新会長の選任について、定款に基づき理事会の中で互選を行いました。阿部一彦理事(会長代行)、岡田和隆理事(副会長)の2名の立候補があり、選



発行所
社会福祉法人
日本身体障害者団体連合会
(中央障害者社会参加推進センター)
発行人 阿部 一彦
東京都豊島区目白3丁目4の3
ディアダックビル4階
TEL 03-3565-3399(代)
FAX 03-3565-3349
http://www.nissinren.or.jp
Japanese Federation of
Organizations of the
Disabled Persons (JFOD)
年間購読料 正会員1部 300円
非会員1部 1000円

挙の結果、有効投票数19票中、阿部氏が17票を獲得し新会長に選任されました。会長の任期は前任者の残任期間となるため、平成29年5月31日までとなります。



第1回定例理事会の様様

つづいて議案2日身連評議員交替の同意については、菊地通雄評議員(茨城県身体障害者福祉団体連合会専務理事兼事務局長)、渋谷年男評議員(和歌山県身体障害者連盟会長)の就任が承認されました(任期は平成29年4月30日まで)。議案3平成27年度事業報告案について、および議案4平成27年度会計収支決算については、いずれも異議なく了承されました。

了承されました(詳細2面)。また併せて日身連を含むJDFの支援活動の取り組みのほか、九州ブロックを代表して、土岐達志副会長から4月22日に行った被災地視察の報告が行われました。

議案5熊本地震の対応については、熊本県を中心とした被災地の加盟団体ならびにその支部団体に対する支援が必要な状況を鑑み、4月26日をもって「日身連熊本地震対策本部」を設置することとし、被災地ならびに九州ブロックと連携しながら支援金活動や国・政党等に対する要請活動などを行っていくことが